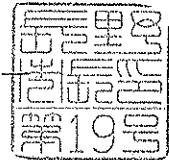




19道第 85 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

長野市長 鷲澤 正



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

日頃、本市の道路整備に対しまして、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 19 年 4 月 2 日付け、国道企第 114 号にて依頼のありましたこのことについて、下記により意見を提出させていただきます。

記

- 1 省エネルギーやCO₂の排出削減に貢献し、コンパクトで機能的なまちづくりを進めるためには、交通の整流化等による交通渋滞対策により、市街地の交通環境や生活環境の改善を図っていく必要があります。そのためには、市街地の骨格となる道路網のうち、未完成の環状道路や必要な都市計画道路の整備、あるいは交差点の立体交差化などを計画的かつ着実に進めていくことが必要です。
- 2 合併により拡大した市域の一体化や、中山間地域の活性化、さらには、自然、歴史、文化など多様な観光資源を活かした賑わいのあるまちづくりを進めるためには、中心市街地や観光拠点へのアクセス向上や、地域拠点間、観光拠点間の周遊性を高める幹線道路網を効率的に整備していくことが必要です。また、買い物など日常生活の利便性の向上や、地域の基幹病院を始めとする医療・福祉施設へのアクセス性の向上も欠かすことができない視点であります。
- 3 高齢化が着実に進展するなか、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、幹線道路においては段差等がなくゆとりのある歩道の整備、生活道路においては歩行者優先のみちづくりなど、総合的な交通安全対策を一層進めていくことが必要です。

- 4 鉄道駅、バスターミナル等の多くの人が集まる交通結節点のバリアフリー化を進めると共に、既存道路施設においても、景観やユニバーサルデザインに配慮した、質的改良も着実に進めていく必要があります。
- 5 豪雨や豪雪などの異常気象時においても、災害を未然に防止して、信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、道路の防災対策を一層進めていく必要があります。また、既成市街地においては、土地区画整理などによる防災対策や生活環境向上対策も必要です。
- 6 地方の道路整備は都市部に比べ遅れており、本市においても道路の改良率は全国平均を大きく下回り、市民を対象に毎年実施している「まちづくりアンケート」では、特に力を入れて欲しい施策として、「道路の整備」、「交通安全・交通渋滞対策」は常に上位を占めている状況であります。市民の期待に応え、国・県道はもとより市道に至るまで、実情に即した道路整備が着実に推進できるよう、所要の財源の確保を図りつつ、より積極的な道路整備の推進と支援をお願いしたい。